社会福祉法人が「よりどころ」となることをめざして

なごや よりどころサポート通信

Vol. 10
H31.3

特集：若者よりそいサポート事業

こどもたちの未来を応援

３１年度からの就学支援対象者が８名決定しました！！

　対象者の皆さんは、この春に児童養護施設等を出て一人立ちし、大学や専門学校に通います。困難な状況の中でも、未来に向かって頑張る若者を本事業の参加法人が連携してよりそい、卒業までサポートしていきます！

＜サポートの内容＞

よりそい支援施設が、毎月３万円の生活費を手交し、相談援助を行います。

ボランティア受入施設が、社会性を広げるためのボランティア活動の場を提供します。

激励会を開催しました！

　３月８日（金）に８名の若者に向けた激励会を行い、社会貢献推進委員会の平井誠敏委員長から激励の言葉が贈られました。皆さんそれぞれ、一人暮らしやアルバイトと学業の両立など不安なこともあるようですが、将来の目標について元気よく意気込みを聞かせてくれました。

　また、現在この事業のサポート受けている先輩２人にも話をしてもらいました。

「バイトをしながら大学の課題をやるのは大変だけど、講義の空きコマを上手く使うといいよ。」

「大学では児童養護施設出身であることは中々言えないかもしれないけれど、信頼できる仲間はできるはずだから！」といったアドバイスをしてくれました。

↓若者が「意気込み」を、支援者が「エールメッセージ」を寄せ書きしました！

対象者の皆さんが、「ひとりきりじゃない」「よりどころがある」と実感しながら、夢に向かって進めるように、本事業を通して応援していきます！

❀この事業は、市民の皆様からの寄付と参加法人からの拠出金を財源として実施しています❀

若者よりそいサポート事業　就学支援対象者の声

ご本人と施設職員の声をご紹介します。(申請書・推薦書より一部抜粋)

私は、2歳の春から児童養護施設で暮らしています。自分の施設には、特別支援学級や高等養護に通う子どもが在院しています。施設にいたからこそ出来た経験から、将来は**特別支援学校教諭**になりたいと思いました。ボランティア活動や大学で、より深い関心や課題を見つけていきたいです。

(18歳・男子)

希望大学に合格してからは、アルバイトを掛け持ちして退所後の学費や生活費を貯めようと頑張っています。
特別支援学校の教諭は、小さい子や障害のある子など様々な子と関わってきたことを活かせる職業だと感じています。

(施設職員)

将来、**乳児院の職員**になることが夢です。
保育園の職場体験をした際、とてもやりがいのある仕事だと感じました。大学でしっかりと勉強をして夢を叶えたいです。自分の学費は全て自分で払いたいと考え、高校3年間アルバイトを頑張ってきました。それでも苦しいと思うので、本事業を希望しています。

(18歳・女子)

本児は、自らが施設で生活することで良い面、悪い面を見てきたからこそ自分に出来ることが何かあるのではないかと考えるようになりました。
支援者側に立ち、子どもたちに笑顔にあふれた充実した生活を送ってほしいという想いを強く持っています。

(施設職員)

なごや・よりどころサポート事業専用ページ

名古屋市社協ホームページ内の専用ページに通信のバックナンバーや、事業実績などを掲載しています。

なごや・よりどころ　検索

寄付も随時受け付け中です！

参加法人数

69法人　**176**事業所

H31.3.15 現在

事業の継続・充実のため、引き続き参加法人を募集しています。ぜひご協力ください。
お問い合わせは下記、事務局まで。

「なごや・よりどころサポート事業」は、名古屋市内の社会福祉法人の連携による、地域における公益的な取り組みとして、既存の制度やサービスでは解決できない地域の課題の解決をめざす事業です。参加法人の協力により、①より身近な地域でどこででも相談できる**「居場所・サロンづくり事業」**
②養護施設等を出て自立をめざす子どもたちの未来を応援する**「若者よりそいサポート事業」**
③就労に困難のある人の労働へのステップを応援する**「就労支援事業」**の三本柱で事業展開し、必要な経費は法人からの拠出金をもとに支出します。

なごや・よりどころサポート事業　事務局

社会福祉法人　名古屋市社会福祉協議会　地域福祉推進部
〒462-8558　名古屋市北区清水四丁目１７の１　名古屋市総合社会福祉会館５階
TEL（052）911－3193　FAX（052）913-8553